

アイゼンパワー 凍傷兵 人間ボブスレー:赤城山

**関東ふれあいの道**

くろひ  
**黒檜山から花見ヶ原へのみち**

このコースは、大沼湖畔から、赤城山外輪山の駒ヶ岳、赤城山最高峰(1827.8m)の黒檜山を経て、西の桐生市黒保根町の花見ヶ原へと至る、約8kmの自然歩道(登山道)です。

大沼周辺では、レンゲツツジの群生、シラカバやミズナラの樹林帯、貴重な湿原植物がみられます。黒檜山山頂からは、関東一円の山並みと日本アルプスや富士山の眺望を楽しめ、花見ヶ原ではキャンプも行えます。

**コース略図**

凡例	
(Yellow line)	関東ふれあいの道
(Green line)	歩道
(Blue line)	自転車道
(Red dot)	バス停

環境省・群馬県

至沼田 大間々線  
環境省・群馬県



生きのいいウカサキは成長すると立派に、素行の悪いウカサキはオレオレサキになります



凍傷兵(古川、深谷)のアイゼン同時多発左足ゴムの劣化で使用不可→アイゼンパーとなりました



両サイド右は崖、左は大沼落ちたらお浸かりさま



景色はすばらしい(背中押ししたくなる)



アイゼン初めて履いたのは平成28年2016年2月7日高水三山、7年前のことでした



足跡を頼りに一歩一歩歩きます、歩きメデスの法則





雪に埋もれてる標識、赤城山の常識



気温は5℃昨年はマイナス5℃、凍傷兵にはなりませんでした



赤城山頂上から2分、絶景スポット地にてランチ





ピンクのギンガムチェックシートが敷かれ適時、適品、大量の手作りサンド、量は大量、吉はだ〜いきち



加賀100万石の深谷家先祖伝来の言い伝え『凍死』は致し方なしとも『餓死』ならばお家断絶、島流し



これが人間ボブスレーの急降下コース



木にぶつかって止まりました





道外して道なき道を行くのは人生と同じ



やっとたどりついた困った、困った駒ヶ岳



木柵、鉄階段を滑ると人間ボブスレーどころか人間スライダー





中締めは名月館にて、ワカサギのから揚げ、煮込み、蒟蒻、十割そば、



高崎発19時2分新宿湘南ライン号にても宴会は続く